

# 事業評価シート

番号 1740090 - 001

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜公園再整備事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成26年度～令和10年度	根拠法令 関連計画※	社会資本総合整備計画		

## 【2.事業概要】

事業の目的	岐阜公園が有する歴史的な価値を伝えるとともに、憩い・学習・交流等の拠点となる本格的な歴史公園へと再整備をする。				
事業の内容	信長公居館跡整備、ガイダンス施設整備、公園区域の拡大、庭園整備ほか				
事業の対象	何を	岐阜公園再整備			
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客			
	どのくらい (具体的 数値で)	岐阜公園敷地及び周辺地において各種整備や用地買収を順次実施			
令和元年度 (実施内容)	観光スポットとしてふさわしい修景となるよう三重塔周辺の法面の修景整備のほか、観光客の受入れ環境整備として花木広場のトイレ改修、サインの多言語化などを実施。 また、公園区域の拡張に伴い、物件補償や用地取得の一部を実施。				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	12,363	390	12,363	390	13,260	390
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>12,363</b>	<b>390</b>	<b>12,363</b>	<b>390</b>	<b>13,260</b>	<b>390</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		275,548	350,751	420,060
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託費	20,174	32,561	21,843
	用地・補償費	66,261	183,901	324,008
	工事費	189,113	120,110	60,181
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>275,548</b>	<b>350,751</b>	<b>420,060</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	287,911	363,114	433,320

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	115,550	122,790	121,290
県支出金			
市債	119,100	161,600	205,600
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	<b>234,650</b>	<b>284,390</b>	<b>326,890</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	53,261	78,724	106,430

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	約100万人	約110万人	約110万人
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	整備面積	単位	m <sup>2</sup>
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1,600	2,000	1,600
実績値	1,600	2,000	1,600

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	-	単位	-
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	-	-	-
実績値	-	-	-

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	観光を活性化し、にぎわいを創出するため必要である。 管理者である市が担うため必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	来園者が増加し、賑わいが創出される効果とコストを比較すると妥当である。 より効果を出せるよう民間活力の導入を検討していく。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	段階的な再整備による魅力的な施設の整備が着実に進んでいる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	平等に利用することができ、適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	岐阜公園が有する歴史的資源を活かした本物志向の観光まちづくりを推進し「歴史公園」へと再整備を行うとともに、民間活力を生かした公園施設の効率的な整備・管理運営手法の見直しを行い、インバウンドを取り込んだにぎわいを創出するため、今後も継続して実施する。

# 事業評価シート

番号 1740090 002

## 【1.基本情報】

事業名	「ぎふ・いざナビ」を活用したまちなか歩き支援事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成18年度～	年度	根拠法令 関連計画※	まちなか歩き構想	

## 【2.事業概要】

事業の目的	携帯電話とQRコードを活用した「ぎふ・いざナビ」や案内マップ「まちなか歩きガイド」により、まちなかを歩きを支援するための情報（観光・歴史・散策コースなど）を提供する。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜市ケータイサイト「ぎふ・いざナビ」で、歴史文化・観光情報を発信</li> <li>QRコードを、歩行者系サイン（案内板）やバス停時刻表、観光施設などに設置</li> <li>折たたみ式のマップを印刷・配布（1万部）</li> </ul>	
事業の対象	何を	歴史文化、観光、散策コースの情報
	誰に （対象者・対象者数）	市民及び観光客
	どのくらい （具体的な数値で）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎふ・いざナビ」はコンテンツ数215</li> <li>「まちなか歩きガイド」は1万部（A2版カラー両面刷り、ミウラ折り）作成、長良川右岸（長良地区）・岐阜公園周辺から加納地域までの中心市街地の情報を掲載</li> </ul>
令和元年度 （実施内容）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎふ・いざナビ」で、市の歴史や観光などの情報を発信した。</li> <li>「まちなか歩きガイド」を日本語版1万部、英語版1万部、中国語版5千部を作成し、公共施設などで配布した。</li> </ul>	

## 【3.支出（行政コスト）】

### (1) 人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,585	50	1,585	50	2,720	80
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>1,585</b>	<b>50</b>	<b>1,585</b>	<b>50</b>	<b>2,720</b>	<b>80</b>

### (2) 物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	マップ印刷代	1,598	918	3,800
	いざナビ保守管理	194	243	196
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>1,792</b>	<b>1,161</b>	<b>3,996</b>

### (3) 総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	3,377	2,746	6,716

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			1,226
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	220	110	130
<b>計(F)</b>	<b>220</b>	<b>110</b>	<b>1,356</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	3,157	2,636	5,360

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	38,087	34,409	38,922
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	83	77	138

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	QRコードの貼付数	単位	か所
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	120	120	120
実績値	120	120	120

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	QRコードからのアクセス数	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	2,000	2,000	2,000
実績値	18,087	24,409	13,922

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	まちなかを歩いて巡る「まちなか歩き構想」を実現するために必要である。  市民及び観光客がまちなか散策をするため、市が歴史文化、観光などの情報を提供することは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	QRコードなどにより、まちなか歩きに必要な情報を提供することで得られる効果とコストを比較すると妥当である。  システムをスマートフォンに対応させ、情報の多言語化など、市民や観光客がより「歩き」を楽しむことができる仕組みに発展させる必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎月QRコードからのアクセスが数百件あり、効果をあげている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	平等に利用することができ、適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民や観光客に必要な観光名所の解説などの情報提供ツールとして効果があるため、システムをスマートフォンに対応させるなど、市民や観光客がより「歩き」を楽しむことができる仕組みに発展させながら、今後も継続して実施する。

# 事業評価シート

番号 1740090 003

## 【1.基本情報】

事業名	まちなか歩き回廊推進事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	(一財)岐阜市にぎわいまち公社 (公社)岐阜市シルバー人材センター	
実施期間	平成19年度～	年度	根拠法令 関連計画※	まちなか歩き構想	

## 【2.事業概要】

事業の目的	まちなかを歩いて巡り、ゆったりとした時間を過ごし楽しむことのできる「まちなか歩き」を推進する。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングイベントを実施(金華地区における歴史をテーマとしたウォーキング)</li> <li>・まちなか歩きの実態および促進状況を把握評価するための歩行者交通量調査を実施(長良川右岸地区・金華地区・加納地区の平日及び休日)</li> </ul>	
事業の対象	何を	まちなか歩きのイベント
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客
	どのくらい (具体的数値で)	春と秋に実施(春は半日、秋は2日程度)
令和元年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春に「まちなか歴史ウォーク」を開催(5/18 歴史博物館～鵜飼観覧船事務所)</li> <li>・秋に「まちなか歴史クイズウォーク」を開催(11/9, 10 岐阜公園及び金華地区)</li> <li>・秋に歩行者交通量調査を実施(平日11/13、休日11/17)</li> </ul>	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	634	20	1,268	40	1,360	40
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>634</b>	<b>20</b>	<b>1,268</b>	<b>40</b>	<b>1,360</b>	<b>40</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		4,434	2,636	2,478
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	イベント開催	3,947	2,144	1,878
	交通量調査	487	492	600
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>4,434</b>	<b>2,636</b>	<b>2,478</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	5,068	3,904	3,838

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	5,068	3,904	3,838

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	イベント参加者	イベント参加者	イベント参加者
受益者数	1,641	3,192	2,421
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,088	1,223	1,585

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	イベント参加者		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	500	500	500
実績値	1,641	3,192	2,421

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	歩行者交通量(平日)		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	7,000	7,000	7,000
実績値	7,278	6,482	7,652

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	まちなかを歩いて巡る「まちなか歩き構想」を推進するために必要である。  市民及び観光客にまちなか散策を楽しんでいただくため、市が歴史文化、観光などの情報を提供することは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ウォーキングイベントは千人規模の参加があり、コストと比較すると効果を上げている。  委託先のにぎわいまち公社が持つ、地域住民やまちづくり団体とのネットワークを活用し、地域に根差した内容のイベントになっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	歩行者交通量は概ね目標を達成している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	平等に利用することができ、適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	まちなかの回遊性向上を図り、にぎわいを創出するため、今後も継続して実施する。実施に際しては、「まちなか歩き構想」に基づき、趣向を凝らしたイベントとする。

# 事業評価シート

番号 1740090 - 004

## 【1.基本情報】

事業名	三輪の歴史文化散策構想実施事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成21年度～	年度	根拠法令 関連計画※	三輪の歴史文化散策構想	

## 【2.事業概要】

事業の目的	三輪地区の文化財及び歴史文化資産の価値を地域住民、市民及び来訪者に知っていただくため、それらを巡るための散策コースを設定し周知する。	
事業の内容	折たたみ式のマップを印刷・配布(1万部)	
事業の対象	何を	三輪地区の歴史文化の情報
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客
	どのくらい (具体的 数値で)	マップは1万部(A2版カラー両面刷り、ミウラ折り)作成
令和元年度 (実施内容)	「三輪の歴史文化散策マップ」を印刷し配布した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	951	30	951	30	1,020	30
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>951</b>	<b>30</b>	<b>951</b>	<b>30</b>	<b>1,020</b>	<b>30</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	918	918	1,017
	案内板取替	138	-	-
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>1,056</b>	<b>918</b>	<b>1,017</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,007	1,869	2,037

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	80	80	80
<b>計(F)</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,927	1,789	1,957

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	10,000	10,000	10,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	193	179	196

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	散策マップ		冊
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	10,000	10,000	10,000
実績値	10,000	10,000	10,000

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	-		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	-	-	-
実績値	-	-	-

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	「三輪の歴史文化散策構想」にある散策コースの情報を市民及び観光客に周知し、活用してもらうために必要である。 市民及び観光客が地域を散策するため、市が地域の歴史文化の情報を提供することは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	持ち運びに適した(ミウラ折)散策マップの配布により得られる歴史文化資産の周知効果とコストを比較すると妥当である。 マップは、地元の自治会連合会との協働で作成している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎年、公民館等で配布したマップ(1万部)は、すべて利用されており、三輪の歴史文化を広く発信できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	平等に利用することができ、適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	恒常的な需要があるため、継続実施するとともに、今後は、エリア内に開通したスマートインターチェンジも含め、三輪地区の歴史文化及び散策コースの情報を継続して発信し、来訪者の増加を図る。

# 事業評価シート

番号 1740090 005

## 【1.基本情報】

事業名	ウォーキングコース整備・路面標示及び案内板				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成24年度～	年度	根拠法令 関連計画※	社会資本総合整備計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	目的地まで歩行者が歩きを楽しみながら移動する快適な歩行環境づくりを行う。	
事業の内容	主要導線及びウォーキングコースに路面標示及び案内板を設置する。	
事業の対象	何を	路面標示及び案内板
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客
	どのくらい (具体的数値で)	・路面標示:長良橋通り57枚、金華橋通り43枚、御鯨街道48枚 ・案内板:長良川ウォーキングコース2基
令和元年度 (実施内容)	・路面標示の点検清掃及び修繕(修繕に合わせて多言語化)	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	159	5	2,219	70	170	5
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	159	5	2,219	70	170	5

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	設置	—	1,440	—
	点検清掃・修繕・多言語化	738	806	567
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		738	2,246	567

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	897	4,465	737

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金		720	
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	720	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	897	3,745	737

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数			
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	路面標示	単位	枚
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	100	148	148
実績値	100	148	148

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	歩行者交通量	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	7,000	7,000	7,000
実績値	7,278	6,482	7,652

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	歩行者が歩きを楽しみながら移動できる環境は必要性が高い。  歩行環境の整備は自治体が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	まちなかを安心して、また健康を意識して歩いてもらえる効果とコストを比較すると妥当である。  市政モニターへのアンケートにより、ニーズがある路線に施工している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	歩行者交通量は概ね目標を達成している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	平等に利用することができ、適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	安心して街中を歩いてもらいかつ、健康を意識してもらうために、引き続き路面標示などにより、トイレや施設までの距離、歩数、消費カロリーなどの情報を提供していく。また、近年増加している外国人観光客に対応するため、多言語化を順次進めていく。